

仲秋名月 — 表紙画解説 —

成熟を急ぐ稲田がキラキラと月光に濡れ、露深い草むらの中には、コホロギの声がトテモ登んでいる。長い間、汗と埃にまみれて、切き洗って来た心の疲れをサツパリと精算して、未牛の豊作を天に希い願う祭り事にも似たお月見、お芋や栗や柿などを供えて十五夜様を迎える気持ち、やつぱり耕す者の持つ誇らしさである。女郎花やかろかなやなど、秋の七草にも、子供の頃の夢が沢山宿っている。

「松の並木にかこまれた、常陸名刹東福寺」
 米小唄の一節である。その松並木の間に美しく輝く名月のまどかさ、お寺と云う観念を超越した別な時代感覚が、大きな境内を一層新鮮な明るい雰囲気押し込んでいいる。西の一角に開放された正方形のなまめ口、一坪の村営グラウンドである。幼稚園の童子達は今頃とんな夢を楽しんでいいる事かしら、フランクヤスベリ台や遊動円木だけが森雨と立ち並んでいる。数々の文化財を所蔵する名刹東福寺、本堂深く灯された蓋燈は、月明と共に静かに更けてゆく。

『さかえ』 九月号目次

表紙	仲秋名月	米小	教頭	鷹巢清
題字	米村	議会議長	根本	一之
扉	仲秋名月	米	弘報委員長	大久保月夜
	農協出資増強特別運動	一	米村青年学級課程表	二
	異常天候と病虫害防除	二	生活改善相談室	四
	村議会議決事項	三	農協より	四
	十月農事手帖	三	「まつけむし」に注意	五
	中学校便り	四	人事移動	六
	小学校便り	六	青年会便り	七
	選管より	七	婦人会便り	七
	村民の声	八	子供へのページ	八
	功績燦たり吉瀬分団	八	福島県視察記	九
	酸性土壌の改良	九	電話室	二一
	稲の刈取り適期	一〇	米村した視察団	二二
	教委便り	一一	特別原稿募集	二二

農協出資増強特別運動の
実施に当りて

米村長 藤沢 勳兵衛

農村経済の前途には今尚幾多の難関が予想されて居りますが、これを克服して農村経済の発展を図るためには、農業者唯一の利益代表団体たる農協の拡充強化にまたねばならぬことは、今更いうをまたない所でありませう。

然し農協の現況はどうかありませうか。先ず全県下の農協を展望いたしますと、財務の不安定、事業経営の不振等によつて苦境にあえぎつ、あるものも多々あるとの事で統制経済より自由経済への移行につれ其の傾向は一段と顕著に現れつ、あるものであります。而して事業不振の原因は個々の組合によつて各々異なりでありませうが、何んと申しても共通の最大原因と認めらるゝものは自己資本の極端なる不足でありませう。県農推進連盟、農協拡充三ヶ年計画委員会はこの点を重視し、将来の農村振興に資するため第二次三

ヶ年拡充計画を樹立し、強力にこれを推進して農協財務の安定と経済の基礎を確立しようとして居るのであります。これが即ち「農協十億出資増強特別運動」であります。

纏つて本村農協の現況を客観的に見ますと、幸い幹部の企画その宣戦を得、之れに加うるに被職員熱意と努力、組合員の一致協力によつて優秀なる成績を挙げ、県下の模範組合と言はれて居るのであります。が、夫れでも出資金の余りに少ないこと、統制経済より自由経済へ移行のための悪影響を受けつ、あることは辞めない事実でありませう。従つて本村に於ても組合出資の増強は既になさねばならぬ決定的の仕事であると言はねばなりません。尤も本村農協は先年出資四百五十万円を目標とする増強五ヶ年計画を樹立し一応運動を終つて其の結果も農協当局が把握致して居ると思つて居りますが、かりにこの目標を達成し得たとしても尚且つ財務の完全なる安定は期し得ないでありませう。何となれば、組合の考課状を見れば一目瞭然であります通り、農協の固定資本は現在系統機関の出資を含めて約五百二十万円に達して居ります。そ

して払込済出資金は僅かに百八十八万八千円に過ぎません。故に差引不足額約三百十一万二千円は貯金面より賸り、其の他賸売、販売の両方面にも多数の運用資金を必要とする者でありますから、この意味に於て組合の財務は決して安定して居るとは申し得ないと思ふのであります。

然らば、かつての産業組合、農業会時代の出資金はいくらあつたかと申しますと、払込済額は一万七千六百五十四円でありまして、物価の値上りを当分の三百倍といたしますと、丁度五百二十九万五千円相当ということに相成ります。今回出資増強として指導機関より与えられた数字は五百二十七万三千円でありまして、これが実現されましても未だしと言ふ所でありましよう。然し一応これで固定資本相当額は出来ることにならるわけでありまして、只今より見ればその基礎はカツと強固になるわけでありまして、由來人向は私始め免再他力本願になりたがるものであります。自らの運命は自から開拓する。農民の経済は農民が救く以外に道はないのであります。この点深く御理解を戴き本運動の展開に当り格別の御協力をお願い致す次第であります。

異常天候と

稲の病虫害防除

栄村農業委員会

新聞の報導によれば、本年度供米予定数に二五〇万石と伝えられて居るが、初夏以来打続く異常天候これを誘因とする病虫害の発生、蔓延、日照時数の激減及冷害とあらゆる悪条件が重なつて、今秋稲の收穫は容易に樂觀をゆるさざる状態となつて居ること、生産者各位の等しく熟知し憂えに包まれて居る所であらう。中には或は自己の飯米に窮する農家の出で来るであらうが、然し吾々農民としては國家的見地に立つて國民食糧確保の観点より重大責任を痛感せざるを得ないと思ふのである。たとえ若しくともこれが吾々の義務である。吾々は本村最近の作況に鑑み、人事を盡して天命を待つべく、徒らに兎作をかこつことなく一意病虫害の防除に邁進し、いくらでもより多くの收穫を挙げなければならぬ。使用する薬物、器具、技術的方面は農協、農業共済組合と密接に連絡し徹底的に防除を行い、万全の處置を取らるる様要請してやまない。

村議会議決事項

八月八日日本会議

第十九号議案 栄村収入役選任について同意を求むるの件

栄村大字松塚四七三番地 菊池民雄

第二〇号議案 栄村監査委員改選について同意を求むるの件

村議会議員中より 市村 徳史

学識経験者の中より 五頭 静男

第二一号議案 栄村固定資産評価審査委員会委員選任につき同意を求むるの件

栄村大字松塚四三九番地 沼尻要之助

第二二号議案 昭和廿八年度村税減免について

固定資産税 (土地又は家屋)

中根 山崎茂助 平島保之助 土器屋 広瀬尚吉

横町 横山さと 金田 市村ヨシ子 谷口雄之助

自転車税

中根 山崎茂助 金田 市村ヨシ子 横町増山と

協議事項

中学校工事促進に關する件及町村合併研究の件

十月農事手帖

天気 15.2度 日照 4.5時間 降水量 53.3mm

麦類の播種は——適期を逃さないこと。播種量の標準は大麥十月三十日播四升、小麥十月廿七日播三升、遅れる場合は一日一合程度増すこと。十日以上遅れるときは一日一五合——二合程度増すこと。今年の種子は不良が多いと思うから、換種と消毒は必ず行う事。一、ウスフルン十倍液に三十分、六十分浸漬する。二、入浴後の風呂湯(40度〜45度)に十時間浸漬し水切後播種(火を引き蓋を一寸程度開ける)。

甘藷の收穫と貯蔵——十月は一番肥大する月で、掘取りは遅い程増収するが、貯蔵用は必ず霜を受ける前に掘取る事。貯蔵温度は10〜15度前後を保つよう。

今年の白菜は——大豆の成熟がおくれたのと、雨勝ちな為、漬付がおくれているから、施肥や中耕を早や目に行つて、発育促進をはかること。尿素の葉面散布も効果的です。マイセーと混用すれば病害も防けて一石二鳥です。尿素は水一斗に三十匁位です。アブラ虫、衣袋虫は徹底的に駆除する事。ワロ丁乳剤十倍乃至百倍液、ホリドリル二千倍液。



中学校便り

○転賣の異動

赤塚世意子先生、土浦第四中学校へ、松井泰雄先生、口谷田部高校へ、御榮轉になりました。後任には大久保富子先生、鈴木清先生が赴任されました。赤塚先生は昭和二十四年三月、栄小学校より赴任され、四年五月本校に勤務され、其の同庚に熱心な御指導振りりと、生徒愛に燃えた親切な先生は、生徒達より母の様に慕われておりました。

松井先生には昭和二十五年十二月、霞ヶ浦高校より赴任され、親身になつた御指導に生徒達より兄の如く慕われ、先生の授業を受けるのを楽しみにしていたのでした。而先生を本村よりお送りすること、口洵におしいこととありますが、而先生の御榮進でありますので、喜んでお送りいたしました。

後任の大久保先生には、静岡師範卒業、鈴木先生には、中央大学法科卒業、而先生は、立派な字、経験手腕を持った先生でございます。赤塚松井而先生同様によろしく

お願い致します。

○夏休みで感じたこと

子供会後援会の活動が活発でありまして、子供達に口教々の忘れ難い楽しい思い出の行事が、開催されまして、校外指導が行事と結びつけて行われ、役員さん、子供達と共に生活されて下さつたこと、感謝に堪えません。役員さんが、子供達と生活して感じたこと、参事までに申し上げますと、結局子供達に勤労を愛好する心を養ふ必要があるということでした。この点について、学校では父兄にたびたび協力をお願いしてゐることです。或る部落で遊園地を子供達と共に除草した役員さん、午前中二時間位の作業であつたのに、非常な労苦をして、最後までやりとげさせたとか、その苦勞を申しておりました。又本村へ他村より来てゐる方、子供達の家業手伝いの姿の見られないのと、大きい生徒達が遊んでゐる姿の多いのに驚いて居りました。

学校へ行つてゐるうちに、仕事に使はれないという風、よい事です。然し親の都合で仕事に使うのではなく、子供の教育のために仕事に使う必要、口大いにあると思ひます。

てゆきます。言葉遣や男女共、乱暴ですから注意して頂きます。二十六日の学校参観日の折に、具体的なお話し合いをしたいと思ひます。

○学級参観日について

学級参観日は二十六日頃になると思ひます。新任の先生方が、受持学級の生徒に馴れてからと考へまして、月末に延期いたしました。

参観の父兄は、上學年になるに、が、つて少なくなり、ますが、小学校一年に入学した当初の心で、九ヶ年、同子供を見守つて頂きたいと思ひます。

年一回しつける作物ならば、今年不作でも、来年とりかえしが、つきますが、人間の一生、口くり返しが出来ません。どうか、一月一回、午前中だけ、可憐い、お子さんのために、予定しておいて頂きます。

○修学旅行

生徒にとつて、三ヶ年の間で最も楽しい修学旅行を、九月四日、五日に日光方面に出かけました。

本年の主任は、特に礼儀が正しかつたので、引率した先生方にも、氣勞れがなく、バスの運転手さんまで、驚かれました。車内が清潔であつたこと、車内で馬鹿騒ぎを

本村より他に就職して、帰村する者が多いことを考へて、頂きたいと思ひます。子供を温室育ちにしてはならないと思ひます。仕事を通じて、勤勞を喜び、心を養うと同時に、意志鍛練の必要を痛感致します。どうか、意地をかんで一つの事をやり遂げる態度を、家庭でも是非考へて頂きたい。中学校以上の学習は、興味だけでやりと、けられるものでは、ありません。意志が弱い子供は、難かしい学習になると、やめてしまふものです。仕事を通じて、学習を通じて、意志をねりたいと思ひます。

○やめさせたいこと

子供達の自転車通学ですが、身体の鍛練のため、特別の事情のない限り、歩行による登校をすすめていきます。次に、自転車の二人乗りが、小中学校共、非常に多くなり、ましたが、これ、口技術のうまさ、を、友達に見せるためと、遊びに出かけるための様ですが、道路の狭い交通量の多い本村では、危険でありますので、是非、やめさせたいと思ひますから、御協力を、お願い致します。

○礼儀のこと

挨拶が、下手です。ので、今、学級、口挨拶のしかたに、努力し

する者がなかつたこと、電車カーナルカー内などで他校の生徒に席をゆすつたこと等、数々の美談を残した修学旅行でありまして、生徒達の收穫も多かつたと思えます。



小学校便り

一 夏休みを顧みて

長い夏休みも皆様の御指導によりまして、何事の事故もなくそれそれの收穫を得て有意義に終ることの出来ました事誠に御同慶に堪えません。当校では休中の作品展覧会を例年の様に開催しましたが、各学年とも充実した作品を出しており、御父兄の方々の御熱心な御指導の程も伺われて大変力強く思いました。次に全般を通しての感想を記しますと、

- (1) テキスト(夏休みの友)ほどの子供もよく勉強して来ている。
- (2) 継続的な観察(例えば植物、天体、気象等)研究が余りなかつた。

けよく試みられた様であるが、採集して箱に並べただけで終らず、学校図書館などを利用して、虫の名や生態などまで調べるところまで発展させてほしいかつた。

(3) 図畫 低学年に写生画が多くみられたのは、大きい生徒の書く写生画の影響であると思はれるが、写生してかくより、日々の生活の中から印象の深い遊びとか、行事とか、出来ごと、事物など、つまり心の中にあるものを自由に画いてみる様にしむけてほしいかつた。

小さい子は、物を見ながら画くより、心にあるものを画くことの方が樂であり得意を樂しいからです。

高学年が大作ととり組んだことは大変よい。

(4) 工作、手芸に創造的な態度が余り見られなかつた。他の作品を模倣して作ることより、工夫をこらして作り出す方が手際がわるくともどれだけ尊く、従つて教育的な価値があるかわかりません。作品の出来はえよりも頭をしぼつて製作する過程を重視していきたいものです。

次にこのやうな製作に當つて親が手伝つてやることの可否ですが、出来るだけ子供自身に苦心させて余り親が直接手を出さないやうにしたいと思います。親が

手伝うと言う心理口、吾が子によい作品を作らせたいと言う愛情から出ていること口勿論ですが、余り手を出し、口出しをしますと子供の内的な活動をする部面がせめめられて、あくまで自分の力で成しとけようとする意志や創造の芽を弱め、依頼心を助長する様な逆な結果になりますので、子供の力以上の出来はえを要求せず、子供の仕事を見まもりながら助言し励まして吾が子の力が充分に出し切れるやうに温かい協力をしてあげることが大切ではないかと思ひます。

尚作品展で優秀な成績をおさめた児童、各学級二割を表彰しました。授賞はテキスト、作品を総合して決定しました。

二、二学期の学級委員任命

- 二学期の学級委員は左のみなさんが任命されました
- 三年 桜井八重子 酒井 光正
 - 四年一組 中島 寛 水野 正子
 - 同 二組 飯島 敏夫 上方 君子
 - 五年一組 平島 健司 若瀬 幸江
 - 同 二組 久保田 茂 飯泉 不沙子
 - 六年一組 上方名尾一 小川ふみ子

同 二組 稲見 嘉洋 本橋英智子

三 九月の学校行事

- 1. 遠足を例年の様に左によつて実施します
- 四年 九月十八日 筑波山
- 五年 九月二十一日 日立、水戸
- 六年 九月二十二日 東京、横浜
- 運動会は十月初め、小中学校合同で開催いたします
- 2. 校内学習指導法研究会
 - 九月廿五、六日の二日にわたり

- 一年 石渡先生 (音楽)
 - 二年 大沼先生 (國語)
 - 五年 渡辺先生 (読書指導)
 - 六年 酒井先生 (体育)
- 右の四先生の授業を中心に指導法について相互研究をします。
- 尚月末頃県教委小野指導主事を招き、主として音楽指導法について指導を受ける予定です。

送管 只今送管人名簿の登録申告書取り纏め中有りませう。用紙と注意書が廻つて居りますから期限内に渡れなく申告して下さい。

村民の声

課題『私が村会議員であつたら』

先づ第一に不当な理論を排して実利主義で立向う。換言すれば、政治経済文化等に対しては、自分が村会議員というメーヨに溺れ、ちよつとした読書を装つて、徒らに空論(理クツ)を発することを徹底的に排除し、村民の諸々の不審及難問に懇切に解答示唆することをモットウにする。議員と村民とは如何なる條件の下でも近親感(親和性)と、つまり議員と村民の關係にあることを意識しその感情を忘れぬ。議員たる者は常に盛衰のカギを握っているのだという責任感と、村内の実利にはあくまで難関を突破遂行出来得る力と自信をもち、つまらぬ争での両者の折衝は、村民によるものよりも議員の不備に因ることが多いのであり、自省しなければならぬと思う、その意味で寛大な心を保持する。

第二に、言うまでもなく、村内のすべての機関に關係する議員は、不当な権力に圧されることなく、自己

の意見を堂々と発表する。それに文化村とゆう御立派な機関——例えば四丁クラブなどの設立に努力する。私口先きに空論を排せよと言つたが、実行の源泉口やはり詭書であることを再認識し、一にも二にも議員の勉強を最大に重要視する。議員は村民の上に立つ——その意識を強調したい。

しかし根本問題は議員の貞である。今も昔もそうだが、比較的長老のみがそのポストにおさまらなければならぬといふような先入主の錯誤を捨てなければならぬ。有能な人間は必ずしも五〇台六〇台の人間の中心にのみ存しない。二〇才台——この人間の中心に文化経済政治のカギを握っている人間が居ることを忘れてはならぬと思う。

「村会議員は酒を飲むことしか知らない」——この罵言を断然一掃する。
(足柄山金太郎)

◎功績燦たり吉瀬分団 今春以来本村、南部方面に頻々として発生した盗難事件は、村民の心を暗くしたが、本村消防団吉瀬分団はよく警察と協力し、長期に亘り倦むことなく遂に犯人逮捕の実を挙げたので九月一日土浦地区警察署長より栄えある表彰状を授けられた。



酸性土壤の改良について

普及員 谷中 守衛

酸性土壤と麥の生育(收量)との間には大きな關係があります。米村に於ては年々大量の化学肥料が施されるので、土壤の酸性化を防止する事に努めなければなりません。酸性土壤の改良は秋の耕耘の時が最もやりよいので酸性土壤と、その改良についてお知らせ致します。

- 一、土壤はどうして酸性になるか。
- イ、土壤へ硫酸や硫酸加里の様な酸を含む物質を年々運用すると酸が土壤中へ残つて酸性になる(真酸性とか活酸性土壤と言う)
- ロ、土壤が雨水に洗われて土壤粒子の持つている石灰加里、苦土等の塩基類が流失した場合(鉱質酸性土壤)土壤は酸性になる結果、土壤に石灰欠乏の状態が現れる、これが酸性土壤である。
- 二、酸性土壤は何故作物の生育が悪いか。
- イ、水素イオンが多くなり直接根より侵入して害を与

- ロ、土壤の物理的性質が不良にする。
- ハ、酸性になるとアルミナが多くなり作物がこれを吸収して障害をユえる
- ニ、石灰や燐酸が欠乏して作物の生育が異状になる
- ホ、肥料を充分施しても養分の吸収が充分行はれない
- ヘ、酸性が強くなると有用な細菌が繁殖しないので作物の生育が悪くなる。

- イ、土壤中病原菌の活動を促し作物の生育に影響する
- 三、酸性土壤に対する作物の抵抗力
- イ、抵抗力の最も強いもの
 - 水稲、陸稻、燕麥、蒲草
- ロ、抵抗力の強いもの
 - 小麦、粟、玉蜀黍、蕎麥、甘日大根、甘藷、里芋、馬鈴薯、豆麻、西瓜
- ハ、抵抗力の稍々強いもの
 - 菜種、小松菜、蚕豆、トマト、大根、黍
- ニ、抵抗力の弱いもの
 - 茄子、トウガラシ、裸麥、豌豆、葱、甘藍、牛蒡、人参

抵抗力の最も弱いもの

大麦、ホーレン草、大豆、小豆、粟、豆、玉葱

四、酸性土壌の改良法

石灰による改良が最も手近で且つ効果的である。
酸性土壌に対する石灰の効果（茨農試）

区別	伊藤村 全畝土一四・八	岩岡町 全畝土二六・九	備考
燐石灰	二一・六五	一九・六〇	消石灰 <small>伊藤村二〇・五 岩岡町三〇・五</small>
石灰如用	三・一五匹	二・四一四	作物大麦

(二) 石灰の種類

種類 アルカリ度

生石灰 一〇〇%

消石灰 七五%

炭酸石灰（炭カル） 五六%

炭カルの酸性矯正力は消石灰と殆んど変わらない効果を示すから施用の際は炭カルが適当である

(三) 石灰の施用量

PH値 炭カル使用量

四・五 三〇××四〇×

五・〇 一五××三〇×

五五 一〇××一五×

土壌のPH値を測定して施用量を決める

(四) 堆肥の施用による改良

有機物の少い鉍質酸性土壌には堆肥を多量に施用しないと充分な改良が望めない。堆肥を充分施用しただけでも酸性土壌の改良に役立つものである。

(五) 其他

酸性土壌では養分の欠乏してゐる事が多く、特に燐酸が吸収利用され難い形態にあるから燐酸の増進に合理的な施用法に努めること。

酸性肥料（硫酸、燐石、硫加）の連用や、人糞尿の連用を避け石灰窒素、尿素、燐成燐肥、灰類等中性又はアルカリ性肥料を適当に施用するよう注意する

酸性土壌に草科作物を栽培する場合には根瘤菌を接種する必要がある。

取期： 稲の刈取適期は最近の調査では今迄の通期とさ
刈期： れて居た時期が過ぎていた事を明らかに
の適： して居る。穂軸が先端から上り位、稔実粒が90
%位黄色を呈したら刈取るがよい（谷中技師）

教 委 便 り

○九月一日 中学校教員の異動

赤塚世意子先生 土浦市立第四中学校へ兼転

松井 恭雄先生、県立谷田部高等学校へ兼転

両先生の後任として鈴木清先生（土浦）大久保管子先生（菅谷）の御両名が赴任されました。終戦後引続き御精勵下さつた赤塚、松井の両先生に深甚なる謝意を表すると共に、後任の両先生には一日も早く村の中にとけこんで御精勵出来ますように皆様の御協力を御願いたします。

○九月五日 義務教育費国庫負担法に基く教材費の国庫負担について協議会が土浦市公民館で開催された。

義務教育費国庫負担法（昭和廿七年八月八日法律第三〇三号）第三條により昭和廿八年四月一日より教材費の一部を國の負担とすることになり七月三十日の政令第一二八号によつて、小学校児童一人当り百円、中学校生徒一人当り百五十四と決り、八月一日の省令で資料を提出することになつたのであります。来年度よ

りば理科教育、図書館教育についても國の補助があることになつております。

○九月十日 本年八月十一日法律第二一一号を以て青年学級振興法が發布されたので、教育長が青年会理事事に出席してどくと懇談する処があつた。

この法律は第十六國會に於て成立を見たのであります。法の目的は勤勞青年に対する教育の機会を提供すると共に實際生活に必要な職業または家事に関する知識技能を習得せしめ、一般教養を向上させるため社会教育法の精神に基いて町村が開設する事業（青年学級）に対し、その健全なる発達を図り、國家社会の有益な形成者の育成に寄与するために制定されたのであります。本村においては既に昭和廿五年度より開放されておりますが、一層この教育機関を振興させ、勤勞の健全で明朗な発達を図りたいと念願してあります。本年度は特に、法律化されて第一年度の年でもありますので、過去二年間の実績を土台に眞に處になる。しかも興味ある青年学級にするため、万全の準備に力を注いで居ります。次頁の教育課程表をよく御研究下さいまして全員洩れなく御協力願いたいと存じます。

栄村青年学級教育課程表

昭和廿八年度

一 基礎課程

年	次	科	職 業 課 程	教 養 課 程	厚 生 保 健 課 程
第 一 年	第 一 次	科	1. 村の生活現況はどうか 2. 主要作物 3. 養蚕 4. 養蚕 5. 畜産 6. 農業経営の基本 7. 簡単な測量 8. 農器具と電気 9. 知識 10. 初級珠算 11. ホームプロジェクト 12. 特別講座	1. 民主生活の原則と発展 2. 民主主義の根本精神 3. 下から上への权威 4. 民主主義と多数決 5. 郷土の研究及日本の古代文化 6. 新しい家良い家庭 7. 言葉の生活 8. 現代漢字と仮名遣いの研究 9. ラジオと映画の聞き方 10. 時事問題 11. 特別講座	1. 生活の設計 2. すまいの研究 3. 家庭衛生 4. 私達の食生活 5. 正しい礼法 6. 体育とレクリエーション 7. 特別講座
第 二 年	第 二 次	科	1. 生産技術の研究 2. 土壌と施肥について 3. 酸性土壌の検出法 4. 米村の土壌研究 5. 普通作物の栽培法 6. 石油発動機の知識	1. 読書の研究 2. 言葉の生活 3. 新聞 雑誌の読み方 4. 民主主義の原理と実際 5. 選挙と政党 6. 地方自治制度	1. 生活の設計 2. 食べもの 3. 労働と保健 4. 新しい礼法 5. 看護法 6. 特別講座

二 選択課程

年	次	科	第 一 次	第 二 次	第 三 次
第 一 年	第 一 次	科	1. 簡単な測量 2. 中級珠算 不十進諸等級 計量器 3. 計算について 4. ホームプロジェクト 5. 特別講座	1. 選挙の進め方 2. 米村の政治及財政について 3. 日本の封建社会の発展と崩壊 4. 時事問題 5. 特別講座	1. これからの公衆衛生 2. 健康生活の諸問題 3. 結核の知識と対策 4. 伝染病と対策 5. 性病の対策 6. 純潔について 7. 新しい礼法 8. 体育とレクリエーション 9. 特別講座
第 二 年	第 二 次	科	1. 産業と消費 2. 農業経営の改善 3. 経営の協力化 4. 農用品の知識 5. 上級珠算 応用算法 6. ホームプロジェクト 7. 特別講座	1. 地方自治について 2. 書翰文及作文の研究 3. 言葉の生活 4. 文学作品の味わい方 5. 日本の近代社会の発展 6. 特別講座 7. 時事問題	

- 一 調理科
 1. 食生活の問題の考え方
 2. 何を食べればよいか
 3. どれだけ食べればよいか
 4. どうして食べればよいか
 5. 食生活はどのように改善されるべきか
- 二 農業科
 1. 生産技術の研究 (蔬菜栽培を主として)
 2. 農業登記 (単記登記について)
- 三 書道
 1. 永字八法の変化
 2. 三十二法とその適用
 3. 大字の練習及実用文字
 4. 書式の練習



—(14)—

一 旧来の農家は、売るための食べ物生産であつて、売らぬものも売つて自家消費は少い。かきの多い野菜と米をせつせつと食べて満足していたが、今からは食品の栄養価を知つて必要量を充分自家で利用する事、非常に忙しいので炊事時間が少ないのと、不便で暗く設備の悪い台所の為、折角栄養の知識と材料が豊富でも喜んで調理をする氣になれない。即ち時間と設備を主婦に提供する事である。

二 食べものに対する考え方があやまつていて、客に食べさすものに見栄をほり、日常は味噌汁と漬物で足りると言う考え方と更に食べものに対する迷信から食べずらいがあつたり、作らなかつたりして、せつかくの食品は都会人のために提供している。

三 農村では一口に言えばカロリーだけ充分以上で他の全部が不足している。米麦の澱粉質が多く、むやみと大食でその結果、胃拡張や種々の病氣が多い。

一 本年度産米生産者価格三等基準一石当り七千七百円という内報を入れ生産者の不満が高まつて来た。本年度の生産費口県指導連の調査(潮来、竹島、大須賀、新治の四ヶ町村より農家九戸を抽出、限界生産費算定方式により行われたもの)によれば、一石当り一万一千五百八十六円(正味)と算出され其の間一石当り三千八百八十六円の損失を生ずることとなる。これでは農家経済がなり立つて行かないのは当然である。そこで農協で口目下、県下は勿論全国的に連繫を取つて米価値上署名運動を展開中である。吾々の政府に向つて要請する米価口、三等連値正味石一万二千円以上で消費者価格は据置きとし、其の他各種奨励金等についても同様増額を必要とする旨要求しつゝあるのである。然し政府は恐らく、原案通り七十七百円を強行する腹と見らるゝが、吾々は不屈不撓あくまで所信を打ち、今年成らずんば、来年ならずんば米々年と、目的貫徹に邁進したいと思ふ。切に御支援を仰ぎたい。



「まつけむし」に注意して下さい

新治地方事務所 林務課長 黒岩 行孝

本年に入つて、猿島、結城、茨波郡下に「まつけむし」が大発生し、最近には稀敷郡下に三〇〇町歩の松林が被害を受けておることが発見され、本郡でも発生に注意をいたしましたところ、桜川南岸並びに出島地帯に相当数発生し、その被害も一〇〇町歩を超えるのではないかと思はれます。本村でも九重、栗原村に隣接した松林が大分被害を受けています。このまゝ放置しておきますと、極めて憂慮すべき事態に立ち至るものと考えられますので、松林を持つている方はすぐ自分の山を見廻つて注意して頂きたいと思ひます。

「まつけむし」の被害を受けますと枯死しない場合でも非常に衰弱して四五年は生長量が少くなり恐ろしい「松くい虫」の巢となります。

「まつけむし」は「まつかれば」という蛾の幼虫で、その年の気象状態により多少の差はありますが、大

一 戸境羽化しまして松の梢の針葉に二〇〇〜一〇〇〇個位の卵を生みつけます。一匹の雌の産卵数は四〇〇〜五〇〇個位ですから繁殖力は極めて旺盛です。卵は一週間で孵化します。孵化した幼虫は十一月月上旬頃まで盛んに葉を鋸状に葉脈を残して両側を喰べます。この間に五〜七回脱皮して四令頃まで口体は黄褐色を呈しておりますが、五令頃以後からだんだん黒味を帯びて来ます。幼令の間は集団しておりますので、八月頃から十月頃までは駆除するに最も適当な時期です。十一月中旬頃から越冬のため梢からおりて幹の樹皮の間、落葉、下草の間等にめぐり込みます。そして翌春暖くなつて四月頃越冬の場所から這い出し、又針葉を盛んに喰害し二〜四回脱皮し、六月頃枝葉又は下草等に繭を作つて蛹になります。

「まつけむし」の駆除については色々な方法がありますが、次に皆さんが直ぐ出来る方法について述べて見ましよう。

一 捕殺

幼令の間は集団しておりますから幼令木の場合には手袋をはめて枝をこき取りつづぶすか、又は枝を切り

—(15)—

取つての差支えない場合は、枝ごと切り取つて焼き捨
てます。老令木の場合、幼虫であれば水を急激にゆ
すぶると地表に落ちますから、これを集めて焼き捨て
ます。

(二) 薬剤駆除

D D T (粉剤一〇% 乳剤水和剤二〇〇ー一〇〇倍
稀釈) 又は B H C (粉剤一ー二% 水和剤二〇〇ー一
〇〇倍稀釈) を散布して駆除します。B H C の散布は
經費が少なく最も効果的です。

(三) 天敵利用

「ぼつけむし」は黄蠶菌、白蠶菌等に非常に弱いので
養蚕をやつておる方は俗に「オシメリ」病という病
気にかかつた蚕を松林の所々に針金を枝にひつかけて
おくと効果がありません。併し附近に桑畑のある松林
では養蚕に害を与えますから注意して下さい。

(四) 誘殺法

十月中旬頃幹に藁又は干草を巻きつけておきますと
越冬のためこの中にゆぐり込みますから、十二月末頃
これを集めて焼き捨てます。この際なるべく高い箇所
に巻きつけませんと中間の樹皮の間にもぐり込みます

から注意して下さい。

天敵の発生 気象状態等により自然的に衰えるとい
うことも考えられますが、これは当てになりません。
現在の発生状況では来春になりますと大変なことにな
りますから、今の時期に徹底的に駆除して下さい。

害虫の駆除は早く被害を発見して早く駆除すること
が最も大事な効果のある方法です。「なめに、たいし
たことはない」などと高をくくらないで山を持つてお
る方は、誰もが是非この際駆除を行つて下さい。皆さ
んの貴重な財産を守るために。

人事	移動
◇沼尻昌雄氏 十二年間収入役として精勤され ましたが八月三十一日満期退任された。	◇沼尻昌雄氏 十二年間収入役として精勤され ましたが八月三十一日満期退任された。
◇菊地民雄氏 収入役として九月八日就任された	◇横山秀暢氏 役場書記として八年間精務され まして八月三十一日依願退任された
◇根本一之氏 公民館運営審議委員長に就任さる	◇監査委員 菊地市村委員満期につき、九月八 日改選の結果五頭静雄 市村徳夫の両氏就任
◇沼尻久好氏 右同副委員長に就任さる	◇根本一之氏 公民館運営審議委員長に就任さる
◇五頭武男氏 農青連委員長に就任さる。	◇沼尻久好氏 右同副委員長に就任さる

青年会便り



○八月十三日、県民体育祭土浦新治地方大会が土浦市
管カランドに於て盛大に開催され、本村より西部地区
代表として須藤君が出場、走高跳に第一位で入賞した
○八月廿四日、社会部事業として裁判所見学を行い、会
員約五十名が殺人死体破棄事件を熱心に傍聴した。
○八月三十日、県民体育祭青年大会が、雨天の中、県
総合カランドに於て、各郡代表選手多数参加のもとに
開催された。本村の須藤君が郡代表として走高跳に出
場活躍された。

○九月一日、二日、両日とも午後八時より西連青卓球
大会の予選をかね公民館保健体育部の後援を得、村内
卓球大会を公民館ホールに開催した。入賞者次の通り

- 青年部男子 第一位 金村秀夫 第二位 酒井良史
- 第三位 久松總次
- 同 女子 第一位 酒井好江 第二位 沼尻ふみ子
- 第三位 豊島光子

- 一般の部 第一位 酒井康夫 第二位 本橋 武

第三位 本橋(名を脱す)

○九月四、五、六日 三日間に亘り新治郡連合青年会
主催 指導者講習会が筑波町江戸屋旅館に開催、次の
四名が参加した。

- 会長 須藤茂雄 副会長 藤沢邦雄 同 酒井照子、
- 総務部長 酒井 覚

○九月十三日 西青連卓球大会が、斗利出村中学校に
於て開催された。本村選手口奮斗努力もそのかいなく
一、二回戦にて惜敗した。

○九月十八日、蔬菜栽培の先進地視察として、千葉県
松戸農芸大学、千歳白菜の栽培地東京柳世田ヶ谷を視
察し、更に国会の見学を行った。

○九月廿三日、各支部一斉に蠟虫駆除実施。



婦人会便り

第六回新生活運動研究大会

八月廿六日水戸及城会館に於て第六回新生活運動研
究大会が開かれました。この日朝の中は小雨けぶり八
月にけ珍らしく冷気をさえ覚えるほどでしたが、全県

下の婦人会員が定期前既に会場に満ち非常な盛会でありました。会議は松岡町町長さん外四名の食生活についての体験発表があり、種々研究や協議が行われ、後斯道の権威者 元労働科学研究所長医学博士磯崎義等先生の「食生活についての諸問題」という講演があり、閉会となりました。体験発表の中、どの方の発表の中にも山羊の導入により、その乳によつて兎角不足がちな農村の動物蛋白質を補給し、合理的に營養の改善を図つていふということがありましたこと注目し、頷く点と思いました。又東茨城郡西郷村第二小学校長大越先生の同校に於ける完全給食の結果は、児童の偏食矯正、營養智識の向上、行儀作法の習得等が知らず知らずの間にに行はれる計でなく、一定食の給与のための自然児童の気持も明朗化し教育上極めて好影響をもたらしつゝあること、そして同校では四十万円の工費を投じ学校に十六坪のパン焼工場及設備をつくり、結食に要する經費は一人一ヶ月百円程度で物納制をとつて居るといふお話でした。本校でも山羊はポツポツ見受けるようになりましたが、学校完全給食の面等も充分研究の価値あること、考えさせられました。



子供のページ

みなさんの好きな野球は、一体どこの国から教えてくれたらいい。又その頃の野球はどんなだったでしょうか。野球は外国から渡つて来たスポーツの中で一番古いもので、明治六年頃（今から八十年位前）来たアメリカ人が東京大学の学生に教えてくれたものでした。その頃ばかりは規則がなく、ストライクを五つとられるとアウト、ボールを七つ出すとバッターが一壘に出るといふぐあい、バットはありあわせの棒、グローブもミットもなくて手のひらで球をとっていました。それで捕手は三、四メートルも後にさがつて一度ボールをバウンドさせてからうけとるといつたりありませんでした。明治二十一年頃になると大分ひろまつて東京等一高等学校が野球の最強チームで活躍し、いま使われている野球という言葉や、投手、捕手、一壘、遊撃、左翼などという野球用語は、みなこの一高の生徒が考へてつけたのだそうです。みなさんこれを考えるとまるで夢のようです。



福島県視察記

—猪苗代湖・発電所
磐梯山 会津若松—

会津磐梯山は 空の山よ

さきに黄金が エーマタ なりさがる

この頃で親しまれて居る磐梯山のある福島県へ、公民館 P.T.A 小中学校職員一行二十数名で、八月廿七日、廿八日と一泊二日の視察をした。特に沼尻要之助氏の御案内とお骨折とによつて、発電所見学から得た多大の收穫は、感謝にたえない。

磐梯山口明治廿一年俄然爆發して、小磐梯の高峰を吹き飛ばし、数々の部落と四百数十人の生命を熱灰泥流の中に埋めたとの事で、裏から見ると、山のかけた跡が口つきり見られ、実に雄大な眺めである。猪苗代湖は、沼尻と火山の作用で出来た湖で、面積百四十万坪の大湖で海拔五百四十四米の高地にある。高地にある湖で風景もよく、驚くほど水量が豊かであつた。この豊富な水を灌漑用水として各方面に利用され、最も大きいのは安積疏水で、これは明治十五年に完成したと

の事である。丁度満水なので、湖の水がそのまゝ流れていて、減水の場合に電力ポンプによつて、汲み上げて流水する大きな設備も見学する事が出来た。其他第一発電所を始めとして、大小十五の発電所があり水力によつて廿五万キロワットも発電出来るという

特に秋元発電所は、三万二千キロワットの発電機が二台あり、その偉力、その設備を見学して、大きな勉強となつた。この電力は、遠く東京をはじめ、本県までも送られている。

飯盛山にのぼつて白虎隊の墓を弔い、主君のために戦う事を最上の忠義と心得た藩士の子弟十五六才の男子が、華々しく戦い壮烈な死を遂げた当時を想い、感無量なのがあつた。

会津塗で有名な若松市は会津盆地の中心で、附近の耕地は、田が畑と比較して多いように見うけられた。山の裾野の傾斜地も畑が少く、殆ど段々の田になつている。

磐梯山や猪苗代湖の眺めの最もよいのは磐梯山附近だと言われる。この村に世界的な学者野口英世の生家及記念館があり、それを見学して深い感銘を受けたので

その一端を述べたい。

英世は其の翁島村の貧しい水呑み百姓の家に生れた。父は大酒呑みで、なまけ者で、少しでも金が入ると呑んでしまふが、バクチに使つてしまつた。しかし人のよきだけけとりえのある人物であつた。母親は男まさりで、働き者で、家計は母親によつて支えられていた。又まつたく学費もないのに産産の試験に合格してその技術はすぐれていたとの事である。

このやうにして英世は決して理想的な家庭、理想的な親の下に育つたのではなかつた。不遇な境遇に育ち多くの苦しみもなめて成人したので、吾々と同じやうな親しみ深さを持つことが出来た。英世の親も理想的な親ではないが、人情に厚いのは父親から、又勤忍耐と強い意志とは母親から受けついでたものといえよう。英世は三才の時左手に大やけどをしてしまつた。そのいろりが今も残され鉄びんをかけた自在鍵がすすけて下がつていた。思えば、これが英世の少年時代のころをいたためたものであり、一面これによつて医師として身を立てやうとゆう決心を持つた源となつたのであつた。小学校を卒業した時、抜群の成績であつたが

始めは二三番の成績であつた。英世のこのまますぎて

しまえば、名もない一人として一生を終つたかも知れないが、卒業の時の試験官であつた小林先生にみとめられた事は、実に大きな事件といわねばならない。英世も勿論非凡であつたが、これを見とめた小林先生は、実に偉かつたと思う。博士の世界的な偉大な業績は云うまでもないが、一生を貫く忍耐と努力を学ばねばならぬと思う。博士はよく他人の依頼に応じて「忍耐」とか「天才」とは忍耐の別名なり」と揮毫されたそうである。記念館には博士の字真、手紙、その他が陳列されてあり、一生を貫いた忍耐と努力の精神によつて、偉大な業績がしのばれてならなかつた。

発電所の事や裏籠梯の高原風景の事などについて、詳しく書きたいのであるが、紙面に限りがあるので、割愛することにする。ともかく、バスを走らすこと百五十里、全く慰安を返上した一泊二日の視察旅行であつたが、実に收穫の多い、極めて勉強になつた点に於て有意義な、しかも頭にいつまでも残る見学の旅であつた。紅葉にはまだ早い東山の趣と若松城趾の壮観は想像以上のものであつた。
(猪俣記)

電話室

村から家庭へ

- ◆八月四日、早朝より小中学校PTA常任 実行西委員長総出勤にて中学校敷地竹藪其の他整地 出勤人員上境七、中根一〇 土器屋八 松塚六、大一一 横町三
- ◆金田一一 古来一〇 吉瀬六 計七二 小中学校職員一一 合計八三名 正午頃終了した。
- ◆午後一時より公民館にて教育委員協議会開催
- ◆八月五日、午後八時より役場において任用委員会開催 同九時三十分閉会
- ◆八月十日、十一日、十二日、三日間災害救助法に基づく氣象警報伝達訓練が行われた。
- ◆八月十二、十三日、土器屋 金田両部落民の協力により藤沢駅荒川沖線県道の中藤沢新田 金田間の道路補修を行う
- ◆八月十三日、十五日 町村長事務研修会、大洗神社事務所で開催、村より村長藤沢氏出席
- ◆八月十九日、八月廿一日午後九時より十五分間NHK第二放送に於て放送の「若き農民」録音のた

- のNHKラジオ局アナウンス部長谷光三氏 同社会部農事課大山勇氏 全現業部中継録音課枝田野政司氏、全水戸放送局森谷秀雄氏来村 公民館に於て午後二時より農青連 青年団を対象として録音、午後四時終了
- ◆八月廿五日、午前八時より公民館に於て農委 生産組合長会議開催、同日同所にて囲碁会、午後一時より役場に教委定例会議開催
- ◆八月二十八日、村長 弘報委員 教育長、小中学校職員 PTA幹部等一行廿八名福島県安積郡安積疏水耶麻郡月輪村上戸揚水場 東京電力小野川水系秋元発電所及磐梯 猪苗代湖、会津方面視察の爲め出発、翌廿九日帰村した。
- ◆八月廿一日、収入役沼尻昌雄氏満期により 書記横山秀暢氏家事都合により何れも本日退職した。
- ◆九月一日、藤沢村に於て消防団幹部講習会開催 団長、副団長、各分団長及各班長出席、終了後本村公民館にて吉頼分団に対し、窃盗犯人逮捕に協力、功績顯著の故を以て土浦地区警察署長より表彰があつた。
- ◆九月四日、中学校三学年生徒日光方面へ修学旅行に出発、翌五日帰校した。